

《2023. 3.23 シラバス更新》

科目番号	52	科目名	ソーシャルデザイン論(G1)	
英 文 科 目 名	Social Design (G1)			
大学・短期大学名	立命館		大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1			
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935
担 当 教 員	永野 聡 (産業社会 学部 准教授)			
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	-	会場	-	
授 業 期 間	2023 年 4 月 6 日 (木) ~ 2023 年 7 月 20 日 (木) <毎週 木曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30			
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	100		%
	そ の 他 ()			%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【授業の概要と方法】				
日本の地域社会は多くの課題を抱えている。そこでの解決策を提示することは、これからの日本の目指すべき道を示す事にも繋がる。これまで様々な主体によって数多くの対策が講じられてきた。彼らはどのように課題を乗り越えてきたのか、そこには多くの視座・視点がかくされている。				
そこで、本授業はインプットとアウトプットの2つの特徴を持つ。まずインプットとして、困難かつ複雑な地域社会の課題に対する解決策の事例を理解する。次にアウトプットとして、これまで学習してきた内容を踏まえてグループワークを実施する。最終的には、地域社会の課題解決に関するソーシャルデザイナーのコンピテンシーを理解する。本授業は15回出席を課す。				
【受講生の到達目標】				
(1) 論理的・批判的思考に関する基本的なスキルとマインドを体得できる。				
(2) 学際的な観点より実践的なソーシャルデザインの事例(戦術面)を理解する事ができる。				
(3) 地域課題解決について深く高度な専門的知見を持ち、様々な分野を横断的に捉える俯瞰力を理解する。				
(4) ソーシャルデザイナーとしての責任感を持つ。				
(5) 授業終了後には、自分にでもできるネクストアクションを起こしたくなる。				
【成績評価方法】				
I、授業内レポート【41%】				
発表資料またはレポートの提出				
(ア)期限までの提出【最大+20%】				
期限後の提出に関しては、下記の②を満たしたとしても①は0%とする。				
(イ)発表資料またはレポート作成【最大+21%】				
シラバスの「授業スケジュール」の15回目に記載されている①～⑦の項目に関する発表資料*またはレポート**を作成する				
①～⑦の各項目+3%(最大値:+3% X 7項目 = +21%)				
*発表資料の場合、各項目最低1ページの資料を作成すること				
**レポートの場合、各項目最低100文字以上記述すること				
II、平常点評価は「授業スケジュール」の3～14回目(12回分)を対象とする【59%】				
(ア)自身のパフォーマンスを通じた「気づきと発見」【最大+24%】				
自らのチームのTrans-Learning(発表)についての省察				
評価基準(各回の授業最大+2%、2% X 12回 = +24%)				
(0%)未提出				
(+1%)自己評価アンケート提出				
(+1%)自らの気づきや発見に関する記述(50文字以上)				
(イ)他者のパフォーマンスを通じた「気づきと発見」【最大+24%】				
相手チームのTrans-Learning(発表)についての意見・感想				
評価基準(各回の授業最大+2%、2% X 12回 = +24%)				
(0%)未提出				
(+1%)相手チーム評価アンケート提出				
(+1%)相手チームに関する気づきや発見に関する記述(50文字以上)				

(ウ) ベーシックパフォーマンス【+11%】

基本点として全員に付与。ただし、授業への姿勢・態度、チームへの貢献、他者への敬意や配慮などが欠落している場合、減点する場合がある(減点の基準は授業や他者への影響を鑑みて、教員が判断する)

【授業外学習の指示】

- ・毎授業の内容に即して、事前に関連する文献・資料等を読んでおくこと。
- ・授業後に内容を復習し、特に関心の深いポイントを掘り下げて考えてみる。

【受講および研究に関するアドバイス】

本授業は全15回に出席する事を履修の前提とする。その理由は以下となる。

- (1) グループワークを2～3週に渡って実施する事があるため。
- (2) 15回受講する事で、授業の到達目標を達成できるため。

※本授業は全授業回遠隔授業です※

単位互換科目の受講が正式に許可される4月中旬以前から授業が受講できるよう「仮受講用ID」を発行します。出願手続きとは別に、以下の通り仮受講用IDの発行申請を行ってください。申請後、所属大学メールアドレス宛に仮受講用ID・PWをお知らせします。

初回授業に間に合うよう、できる限り早めに申請してください。

<仮受講用ID発行申請>

■申請手順

以下の項目を、立命館大学BKC学びステーション(bkckyoga@st.ritsumei.ac.jp)宛にメールで送信してください。

●メールの件名:「単位互換科目仮受講ID発行依頼(ご氏名)」

●メール本文に必要な項目:

- ・所属大学名
- ・所属大学学籍番号
- ・氏名(例:立命 太郎)
- ・氏名カナ(例:リツメイ タロウ)
- ・氏名ローマ字(例:RITSUMEI Taro)
- ・所属大学メールアドレス
- ・連絡先電話番号

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月6日	「ソーシャルデザインとは」「ソーシャルとは」「デザインとは」 学生主体調査・議論
2	4月13日	「アクティブラーニングキャンパス(ALC)プロジェクト」 ～分析～ 学生主体調査・議論
3	4月20日	「アクティブラーニングキャンパス(ALC)プロジェクト」 ～構想・準備～ 学生主体調査・議論
4	4月27日	「アクティブラーニングキャンパス(ALC)プロジェクト」 ～発表～ 学生主体調査・議論
5	5月11日	「小規模自治体におけるシェアリングエコノミーを活用した地域活性化プロジェクト」 ～分析～ 学生主体調査・議論
6	5月18日	「小規模自治体におけるシェアリングエコノミーを活用した地域活性化プロジェクト」 ～構想・準備～ 学生主体調査・議論
7	5月25日	「小規模自治体におけるシェアリングエコノミーを活用した地域活性化プロジェクト」 ～発表～ 学生主体調査・議論
8	6月1日	「地方都市におけるジェロントロジー(老年学)と地域活性化プロジェクト」 ～分析～ 学生主体調査・議論

9	6月8日	「地方都市におけるジェロントロジー(老年学)と地域活性化プロジェクト」 ～分析～ 学生主体調査・議論
10	6月15日	「地方都市におけるジェロントロジー(老年学)と地域活性化プロジェクト」 ～分析～ 学生主体調査・議論
11	6月22日	「京都における地域観光プランニングプロジェクト」 ～分析～ 学生主体調査・議論
12	6月29日	「京都における地域観光プランニングプロジェクト」 ～構想・準備～ 学生主体調査・議論
13	7月6日	「京都における地域観光プランニングプロジェクト」 ～発表～ 学生主体調査・議論
14	7月13日	「京都における地域観光プランニングプロジェクト」 ～発表～ 学生主体調査・議論、Social Design Frameworkの概要説明
15	7月20日	自分でできるSmall Social Design

<教科書・参考書>

【参考書】

『実践ソーシャルイノベーション - 知を価値に変えたコミュニティ・企業・NPO』野中 郁次郎、廣瀬 文乃、平田透著
(千倉書房 4805110333)

『共感が未来をつくる: ソーシャルイノベーションの実践知』野中 郁次郎著(千倉書房 4805112271)

『ロングライフウェルネス』永野 聡、劉 慶紅、三上 己紀著(論創社 4846021483)

【参考になるwwwページ】

Miro <https://miro.com/app/board/uXjVPKjfrj8=>

シェアリングエコノミー協会 <https://sharing-economy.jp/ja/>

デジタル田園都市国家構想(内閣府) <https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/index.html>

グリーン社会の実現(首相官邸) <https://www.kantei.go.jp/jp/headline/tokushu/green.html>

The Intergovernmental Panel on Climate Change <https://www.ipcc.ch>

United Nations <https://www.un.org/development/desa/ageing/>

World Health Organization (WHO) https://www.who.int/health-topics/disability#tab=tab_1

日本財団 <https://www.social-innovation.jp/social-innovators/about/>

NPO法人ETIC. <https://www.etic.or.jp/index.php>

認定NPO法人ふるさと回帰センター <https://www.furusatokaiki.net/>

グッドデザイン賞 <http://www.g-mark.org/about/>

キッズデザイン賞 <http://www.kidsdesignaward.jp/2017/overview/index.html>

慶大SFC社会イノベータコース <http://si.sfc.keio.ac.jp/>

立命館大学永野ゼミ <https://www.naganoseminar.com/>

京都産業大学大室研究室 <http://www.cc.kyoto-su.ac.jp/~k3833/>

自遊人 <http://jiyujin.co.jp/>